

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門 セミファイナル第2日目 演奏レポート (2019年6月22日)

山田治生 (音楽評論家)



12 コー・ドンフィ (韓国)

バルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所

R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

セミファイナル2日目は、4人中3人がバルトークの協奏曲第2番を選択した。韓国出身のコー・ドンフィもバルトークの第2番を弾いた。冒頭から力んだ演奏。元気とも言えるが、必要のないところでアクセントがついている。激しく思い切りのいい演奏ではあるが、同時に、粗くも感じられた。第2楽章では、もっと慎重に丁寧で洗練された音色がほしかったし、とりわけ冒頭の旋律は、より正確な音程が望まれた。第3楽章でも溢れ出るテンペラメントを披露。情熱的に全曲を弾き終えた。

続いて、コンサートマスター席でブラームスの交響曲第1番第2楽章終結部と「ツァラトゥストラはかく語りき」の舞踊の歌を演奏。ブラームスでは、少し前のオーケストラ・パートを弾かず、ソロから弾き始める。力を込めての演奏は作品の音楽的内容とは異なるものと思われた。「ツァラトゥストラ」は立ち上がらなばかりの熱演。ここでも余計なアクセントが気になった。



07 石原 悠企 (日本)

バルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所

R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

石原悠企は、桐朋学園大学やベルリン芸術大学で学ぶ。彼もバルトークの第2番を弾いた。豊かで温かみのある音が魅力的。脇の締まったコンパクトな奏法から多彩な音楽を生み出していく。オーケストラに対して、何かを投げ掛けたり、音楽的な変化をもたせたり、積極的にコミュニケーションしていく。第2楽章冒頭は洗練された音色。どのようなヴィブラートを使うのかについてもよく考えられている。第3楽章を含めて、技巧的にも安定感があった。オーケストラとの共演を楽しんでいるようであり、聴き手である私たちも彼の演奏を楽しんだ。

コンサートマスター席で弾いたブラームスでは、力まないでも音がよく届いていた。最後のフェルマータは、弓を2往復させて少し長めに取った(他のコンテストの多くは、1往復半返す)。「ツァラトゥストラはかく語りき」では、チェロのソロなど、他の奏者への目配りも感じられた。



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp



01 荒井 里桜 (日本)

プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.19
 ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
 R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

荒井里桜は、東京藝術大学で学び、昨年の日本音楽コンクールで第1位を獲得している。彼女は、プロコフィエフの協奏曲第1番を弾いた。第1楽章冒頭からこの作品にふさわしい洗練された美しい音を奏でる。良いヴィブラートをもっている。正確で、技巧的にも安定感がある。そういうメカニカルなところは第2楽章でも強みとなり、颯爽と駆け抜けていく。第3楽章も含めて、音楽への集中度が高い。強い個性を示す演奏ではなかったが、手堅く、完成度は高かった。

そして、コンサートマスター席でブラームスの交響曲第1番第2楽章終結部と「ツァラトゥストラはかく語りき」の舞踊の歌を弾いた。荒井の明るめのよく鳴るヴァイオリン演奏は、ブラームスやR.シュトラウスのなど、ドイツ・ロマン派の作品に合っているように思われた。とりわけ「ツァラトゥストラ」では、力感のあるソロがスケールの大きさを示し、指揮者にもよく反応していた。



15 シャノン・リー (アメリカ/カナダ)

バルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
 ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
 R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

シャノン・リーはアメリカからの参加。今年5月のエリザベト王妃国際コンクールで第4位に入賞し、昨年のインディアナポリス国際コンクールで第6位に入るなど、メジャー・コンクールで入賞を重ねている。今日のバルトークの協奏曲第2番でも、非常に高いテクニックと素晴らしい気迫を示した。第1楽章から俊敏で引き締まった演奏が見事。速くて難しいパッセージほど、攻めの姿勢を示し、16分音符などの細かい音を粒立たせ、曖昧さのない明晰な演奏を繰り広げる。そして緩徐楽章では十分に歌う。第3楽章でも技巧的な箇所が鮮やか。全体を通して、キレがよく、大胆かつ丁寧な、ハイ・レベルの演奏。オーケストラに対する意識も持ち合わせる。

コンサートマスター席で弾いたブラームスは、ヴァイオリンのソロ曲のように聞こえた。最後のフェルマータでの音量の増減は疑問に思う。「ツァラトゥストラ」でもさすがのテクニックだったが、もう少し艶がほしいとも思われた。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第7回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選からガラコンサートまでの全演奏のライブ配信を行います。また、演奏日の翌日から9月30日(月)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。 simc.jp/7th_competition/

♪最新情報はFacebook、twitterから!!

仙台国際音楽コンクール公式Facebook、twitterでも最新情報を配信しております。

Facebook: @SendaiInternationalMusicCompetition
 twitter : @sendai_simc

第7回コンクール チケット情報

ー プレイガイド ー

仙台国際音楽コンクール
 公式サイト、
 日立システムズホール仙台、
 仙台銀行ホール イズミティ21
 ローソンチケット、
 チケットぴあ、仙台三越

※詳細は公式サイト
<https://simc.jp>を
 ご覧ください。

	ヴァイオリン部門	座席	料金	友の会料金
予選	6/15 (土) 販売終了 6/16 (日) 販売終了 6/17 (月) 販売終了	全席自由 日時指定	1,000円	1,000円
セミファイナル	6/21 (金) 販売終了 6/22 (土) 販売終了 6/23 (日) 14:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円	S席 2,700円 A席 1,800円
ファイナル	6/27 (木) 18:30～ 6/28 (金) 18:30～ 6/29 (土) 完売 ～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円	S席 2,700円 A席 1,800円
入賞者記念 ガラコンサート	6/30 (日) 完売 ～	全席指定	S席 4,000円 A席 3,000円	S席 3,600円 A席 2,700円
審査委員による マスタークラス聴講券	6/24 (月) 11:00～ 6/25 (火) 11:00～	全席自由 日時指定	一般 1,000円 学生 500円	一般 900円 学生 500円



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>